

# 兵庫県下の経済動向

平成26年2月

但馬銀行  
TAJIMA BANK

# 目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

## 【概 況】

最近の県内景気は、持ち直している。個人消費は持ち直しつつあり、消費税率引き上げを前にした歳末・初売り商戦も盛り上がりが見られた。また、住宅投資や公共投資は増加している。一方、設備投資は弱めとなっている。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が7か月連続して前年を下回った。

乗用車販売は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車、普通貨物車、小型貨物車および軽貨物車が増加し、6か月連続して前年を上回った。

家電販売は、下げ止まりつつある。

設備投資は、非製造業が増加を見込んでいるものの、製造業は減少を見込んでおり、25年度も減少計画となっている。

住宅投資は、持家、貸家、分譲が増加し、5か月連続して前年を上回った。

公共工事請負金額は、独立行政法人等、国、神戸市を除く市町で大幅減、神戸市で2桁減となったことから、9か月ぶりに前年を下回った。基調としては増加している。

貿易は、輸出は中国を含むアジア、中国向けが減少したが、米国およびEU向けが増加し、11か月連続して前年を上回った。また、輸入については13か月連続して前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、3か月連続して前年を上回った。

雇用関係では、有効求人倍率は前月を上回り、新規求人数も前年を上回った。

また、所定外労働時間および常用労働者数は前年を上回ったが、一人当り名目賃金は前年を下回った。

金融情勢は、預金は前年を上回って推移しており、貸出は前年並みの水準で推移している。

企業倒産は、件数、負債金額ともに前年を下回った。

### 兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

11月の兵庫DIは、先行指数85.7%、一致指数83.3%、遅行指数75.0%となった。

10月の兵庫CIは、先行指数92.7、一致指数93.9、遅行指数104.2となった。

兵庫DIは、先行指数が3か月連続で50%を上回り、一致指数が3か月連続で50%を上回った。

一方、兵庫CIは、先行指数が3か月連続で前月差増、一致指数は3か月連続で前月差増、遅行指数は7か月連続で前月差増となった。

県統計課は基調判断を「緩やかな持ち直しの動きがみられる。」としている。

\*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

## 【生 産】

12月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は95.7、前月比1.3%増加。出荷指数は93.0、同0.5%減少。在庫指数は130.9、同1.8%減少。在庫率は129.4、同0.9%減少。生産指数は2か月ぶりに上昇、出荷指数は4か月ぶりに低下、在庫指数は4か月ぶりに低下した。

前年同月比(原指数)では、生産は11.2%増で3か月連続で上昇、出荷は11.6%増で3か月連続で上昇、在庫は2.5%増で3か月連続で上昇した。

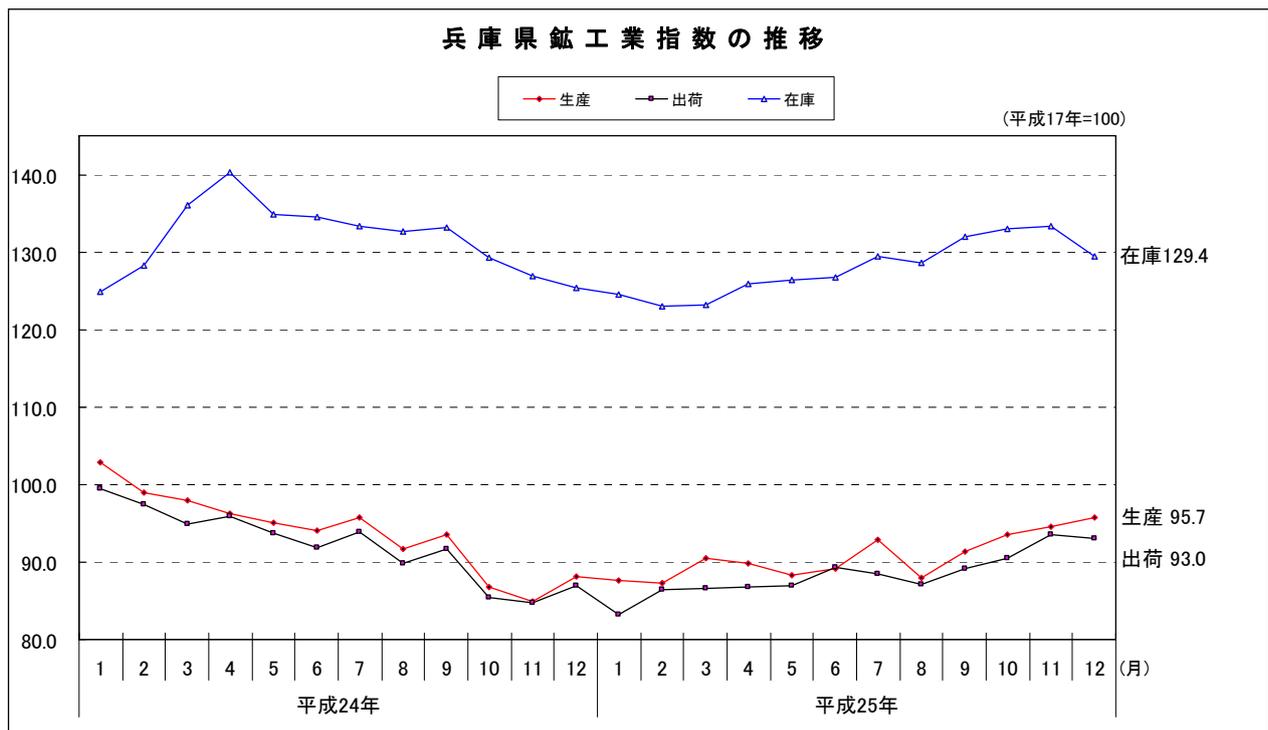
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、線型半導体集積回路等の「電子部品・デバイス工業」が13.2%、非標準油入り変圧器(1000kVA以上)等の「電気機械工業」が9.4%、船用ディーゼル機関等の「輸送機械工業」が3.7%、ガス湯沸器等の「金属製品工業」が0.7%、普通鋼鋼帯等の「鉄鋼業」が0.1%各々上昇し、医薬品等の「化学工業」が6.2%、テレメータ・テレコントロール等の「情報通信機械工業」が3.5%、砂糖等の「食料品工業」が0.7%、蒸気タービン部品等の「一般機械工業」が0.1%各々下落した。

県統計課は、基調判断を「持ち直しの動きがみられる」とした。

12月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分	季節調整 済指数	対前月比 増減 (%)	原 指 数	
				対前年同月 比増減 (%)
生 産	95.7	1.3	101.3	11.2
出 荷	93.0	▲ 0.5	100.1	11.6
在 庫	130.9	▲ 1.8	130.1	2.5
在 庫 率	129.4	▲ 0.9	134.5	▲ 91.4

資料：兵庫県企画県民部統計課



## 12月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	99.7	0.1	上昇	普通鋼鋼帯、特殊鋼冷間仕上鋼材(圧延鋼材)、H形鋼、粗鋼
			低下	特殊鋼熱間圧延鋼材、普通鋼冷延電気鋼帯、特殊鋼熱間鋼管、ブリキ
金属製品	87.5	0.7	上昇	ガス湯沸器、ガス温風暖房機、ねじり棒ばね、ビル用アルミニウムサッシ
			低下	橋りょう、うす板ばね、粉末や金製機械材料、ガス風呂がま
一般機械	94.2	▲ 0.1	上昇	一般用蒸気タービン、ボイラ部品、建設用クレーン、プレス用金型
			低下	蒸気タービン部品、熱交換器、混合機・かくはん機・粉砕機、ショベル系掘削機械
電気機械	152.0	9.4	上昇	非標準油入り変圧器(10000kVA以上)、一般用タービン発電機、電力変換装置、保護継電器
			低下	開閉制御装置、リチウムイオン蓄電池、太陽電池モジュール、高圧遮断器
情報通信 機械	118.8	▲ 3.5	上昇	携帯電話、カーオーディオ、パーソナルコンピュータ、搬送装置
			低下	テレメータ・テレコントロール、固定通信装置、カーナビゲーション
電子部品 デバイス	91.7	13.2	上昇	線型半導体集積回路、電界効果型トランジスタ、IGBT、スイッチング電源
			低下	アクティブ型液晶素子(7.7インチ未満)、シリコンダイオード、シリコントランジスタ(1W未満)、混成集積回路
輸送機械	81.0	3.7	上昇	船用ディーゼル機関、二輪自動車(125ml超)、駆動伝導・操縦装置部品、二輪自動車部品
			低下	旅客車、鋼船
化 学	86.9	▲ 6.2	上昇	化粧品、塩化ビニル樹脂、石油化学品製造用触媒、アクリル酸エステル
			低下	医薬品、酸化亜鉛、酸化チタン、電気絶縁塗料
食 料 品	84.1	▲ 0.7	上昇	パン類、ビール類、配合飼料、塩
			低下	砂糖、肉製品、しょうゆ、冷凍調理食品

資料：兵庫県企画県民部統計課

## 【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた1月の県内百貨店売上高は、前年同月比2.7%減の187億3百万円で、7か月連続して前年実績を下回った。消費税増税前の駆け込み需要もあったが、昨年1月末の大丸新長田店の閉店や新商業施設との競合が影響した。

神戸地区は2.4%減。大丸神戸店は初売りなどが好調で前年を上回り、「年始のセールがけん引して、ボリュームゾーン（最も売れる価格帯）の商品も動いた」とする。高額品は引き続き好調。そごうは衣料品が苦戦して前年を下回ったが、消費税増税前の駆け込みでオーダースーツが好調だった。

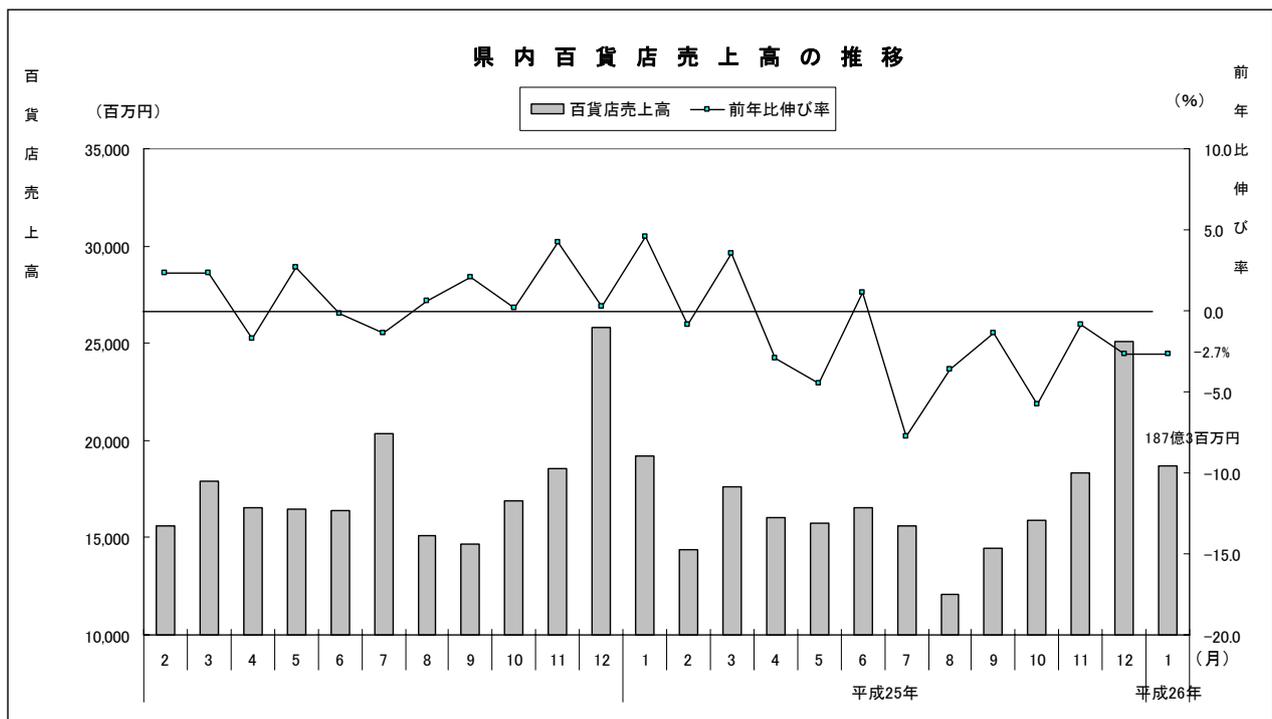
姫路地区は4.1%減。昨年4月末に開業したJR姫路駅の「ピオレ姫路」の影響などが続いている。

1月の県内百貨店売上高

品目 \ 地区	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	917(▲16.4)	248(▲6.5)	1,166(▲14.5)
婦人服・洋品	5,507(▲0.3)	863(▲8.5)	6,370(▲1.5)
子供服・洋品	478(▲3.3)	124(▲6.5)	603(▲4.0)
身の回り品	1,761(▲5.2)	366(▲7.5)	2,128(▲5.6)
家庭用品	584(▲7.4)	133(▲13.0)	718(▲8.5)
食料品	3,701(▲3.8)	727(▲0.8)	4,429(▲3.4)
雑貨	1,792(▲6.6)	444(▲9.2)	2,237(▲7.1)
その他	759(▲2.2)	290(▲3.9)	1,050(▲0.4)
計	15,503(▲2.4)	3,200(▲4.1)	18,703(▲2.7)

\* 単位百万円、百万円未満切捨て。( )内は前年同月比伸び率% 資料：兵庫県百貨店協会

※ 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



## 【個人消費】『新車登録』

県内1月の乗用車新車登録台数は17,055台、前年同月比27.5%増と6か月連続して前年同月の実績を上回った。

1月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は5,853台(前年同月比31.1%増)、小型乗用車は5,037台(同20.4%増)、軽乗用車は6,165台(同30.3%増)、乗用車合計で17,055台(同27.5%増)となった。

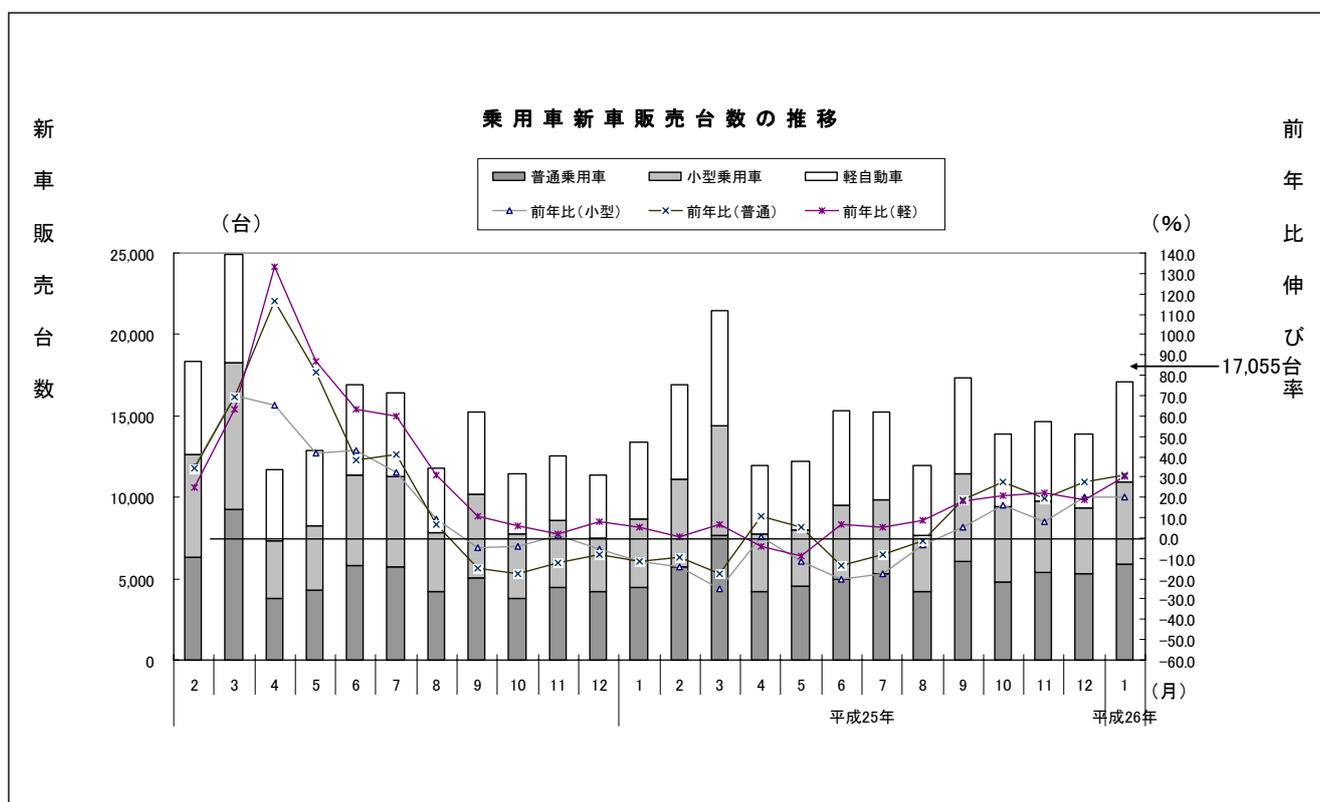
また貨物車等では、普通貨物車は226台(同34.5%増)、小型貨物車540台(同15.4%増)、軽貨物車は1,255台(同27.2%増)、バスは20台(同16.7%減)となった。

### 1月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	5,853	31.1	136,120	40.4
小型乗用車	5,037	20.4	128,158	16.9
軽乗用車	6,165	30.3	169,325	34.9
<b>乗用車合計</b>	<b>17,055</b>	<b>27.5</b>	<b>433,603</b>	<b>30.6</b>
普通貨物車	226	34.5	9,544	30.7
小型貨物車	540	15.4	18,033	21.2
軽貨物車	1,255	27.2	34,320	19.8
<b>貨物車合計</b>	<b>2,021</b>	<b>24.5</b>	<b>61,897</b>	<b>21.8</b>
バス	20	▲16.7	581	▲4.6
<b>登録車総計</b>	<b>19,096</b>	<b>27.1</b>	<b>496,081</b>	<b>29.4</b>

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



## 【設備投資】

内閣府が2月12日に発表した機械受注統計によると、平成25年12月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、25年11月前月比5.8%減の後、25年12月は同3.1%減の2兆902億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、11月前月比9.3%増の後、12月は同15.7%減の7,441億円となった。

内訳をみると、製造業が同17.3%減の2,926億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同17.2%減の4,557億円であった。

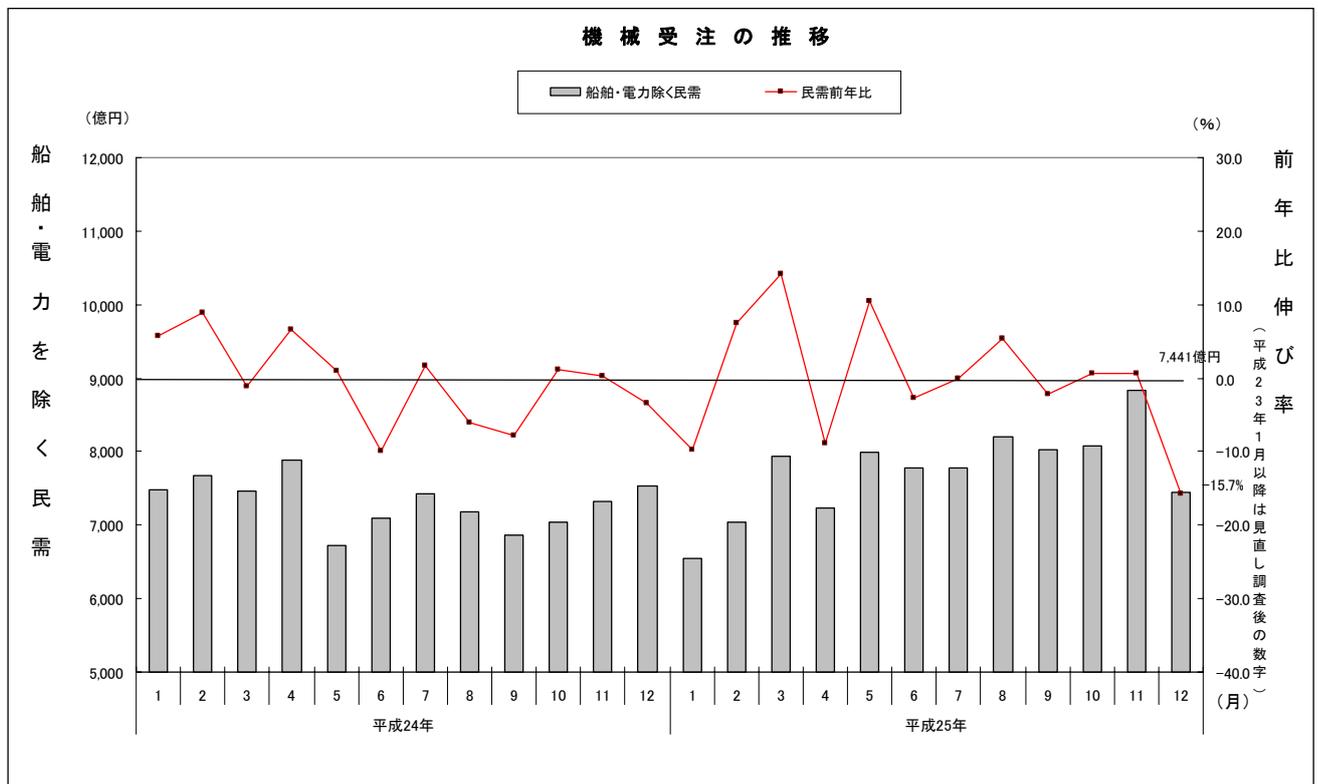
製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、「その他輸送用機械」(27.6%増)、非鉄金属(13.1%増)、自動車・同付属品(11.5%増)、精密機械(11.4%増)等の6業種で、パルプ・紙・紙加工品(77.5%減)、石油製品・石炭製品(55.3%減)、電気機械(31.6%減)、造船業(30.6%減)、化学工業(26.1%減)等の9業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、鉱業・採石業・砂利採取業(69.7%増)、電力業(11.9%増)、農林漁業(7.3%増)、不動産業(4.8%増)等の6業種で、リース業(43.3%減)、金融業・保険業(41.4%減)、卸売業・小売業(29.9%減)、運輸業・郵便業(22.5%減)等の6業種は減少となった。

兵庫県下においては、2013年度設備投資額は、製造業が減少を見込んでいるものの、非製造業は増加を見込んでおり、全産業では減少計画となっている。

\*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2013年12月 ——兵庫県——

設備投資計画：全産業前年度比▲3.5% (製造業▲4.4%、非製造業+0.3%)



機械受注統計 (平成25年12月分)

	24年 10~12月 実績	25年 1~3月 実績	4~6月 実績	7~9月 実績	10~12月 見通し	25年 9月 実績	10月 実績	11月 実績	12月 実績
受注総額	56,379 ( 3.7) [-9.7]	60,410 ( 7.1) [-5.3]	62,406 ( 3.3) [ 4.7]	65,493 ( 4.9) [21.4]	63,878 (-2.5) [13.8]	23,999 (13.2) [30.3]	22,896 (-4.6) [24.6]	21,573 (-5.8) [ 8.9]	20,902 (-3.1) [15.1]
民 需	25,341 (-0.7) [-5.6]	25,477 ( 0.5) [-2.0]	26,754 ( 5.0) [ 2.5]	28,077 ( 4.9) [ 9.9]	26,589 (-5.3) [ 9.4]	9,402 (-0.9) [ 9.7]	10,062 ( 7.0) [20.7]	9,931 (-1.3) [15.7]	9,021 (-9.2) [ 7.7]
” (Ex 船・電)	21,546 (-0.8) [-0.8]	21,539 (-0.0) [-4.6]	22,999 ( 6.8) [ 6.4]	23,986 ( 4.3) [ 9.6]	23,481 (-2.1) [11.9]	8,021 (-2.1) [11.4]	8,072 ( 0.6) [17.8]	8,826 ( 9.3) [16.6]	7,441 (-15.7) [ 6.7]
製 造 業	8,550 (-5.3) [-11.1]	8,407 (-1.7) [-12.1]	8,875 ( 5.6) [-4.2]	9,745 ( 9.8) [ 8.2]	9,804 ( 0.6) [18.3]	3,345 ( 4.1) [17.3]	3,338 (-0.2) [21.9]	3,537 ( 6.0) [18.9]	2,926 (-17.3) [ 5.5]
非製造業 (Ex 船・電)	13,491 ( 5.6) [ 7.4]	13,072 (-3.1) [ 2.8]	14,701 (12.5) [14.1]	14,102 (-4.1) [10.4]	13,610 (-3.5) [ 7.6]	4,567 (-0.7) [ 8.0]	5,095 (11.5) [15.1]	5,506 ( 8.1) [15.1]	4,557 (-17.2) [ 7.6]
官 公 需	6,942 (-3.6) [-1.5]	6,949 ( 0.1) [-6.9]	8,668 (24.7) [ 7.4]	9,413 ( 8.6) [34.0]	8132 (-13.6) [34.8]	3,822 (42.9) [47.9]	2,820 (-26.2) [24.1]	2,486 (-11.9) [ 8.8]	2,649 ( 6.5) [10.8]
外 需	21,246 ( 3.2) [-16.5]	23,670 (11.4) [-8.8]	24,837 ( 4.9) [ 7.8]	27,548 (10.9) [34.7]	26,199 (-4.9) [14.7]	10,510 (12.1) [57.4]	8,830 (-16.0) [29.7]	7,750 (-12.2) [ 1.3]	8,417 ( 8.6) [25.0]
代 理 店	2,648 (-2.6) [-1.8]	3,000 (13.3) [ 4.2]	2,643 (-11.9) [-4.1]	2,852 ( 7.9) [ 4.6]	3,034 ( 6.4) [12.6]	931 (-4.2) [ 9.9]	1,054 (13.2) [21.9]	996 (-5.5) [11.9]	1,027 ( 3.0) [15.3]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
  2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

## 【住宅投資】

県内12月の新設住宅着工戸数は、総数で4,238戸(前年同月比32.7%増)となり、持家、賃家、分譲住宅が増加し、全体では5か月連続して前年を上回った。また、前月比では221戸の増加となった。

### 12月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	1,188	11.8	31,858	19.1
・分譲住宅	1,762	54.8	21,902	2.1
貸家系・貸家	1,281	30.1	35,634	29.8
・給与住宅	7	0.0	184	▲ 38.9
<b>総数</b>	<b>4,238</b>	<b>32.7</b>	<b>89,578</b>	<b>18.0</b>

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

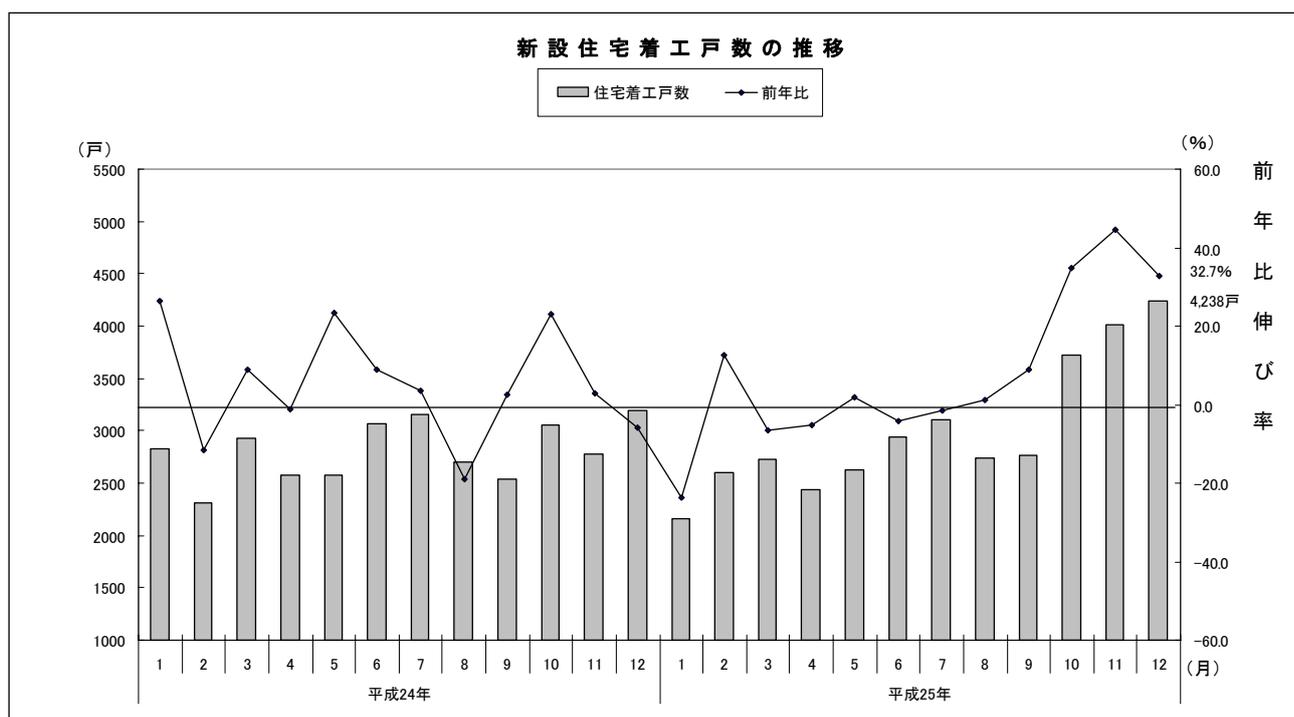
### 12月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	1,419	629	670	515	119	510	164	42	94	76	4,238
前月比	-11.5	12.1	94.2	4.7	-31.6	-7.6	41.4	-36.4	56.7	58.3	5.5

資料：兵庫県住宅政策課

平成25年12月の新設住宅着工累計は、総数で4,238戸、前年同期比1,045戸の増加となった。利用関係別では「持家」が1,188戸(前年同期比11.8%増)、「貸家」が1,281戸(同30.1%増)、「分譲住宅」が1,762戸(同54.8%増)、「給与住宅」が7戸(同0.0%)となった。



## 【公共工事】

1月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は351件で前年同月比3.6%の減少、請負金額は157億円で同14.2%の減少となり、金額ベースでは9か月ぶりに前年同月を下回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「その他の団体」前年同月比131.8%、「兵庫県」同0.8%が増加となり、「独立行政法人等」同▲39.9%、「国」同▲31.7%、「神戸市を除く市町」は同▲31.0%、「神戸市」同▲18.4%で減少となり、前年同月を下回った。

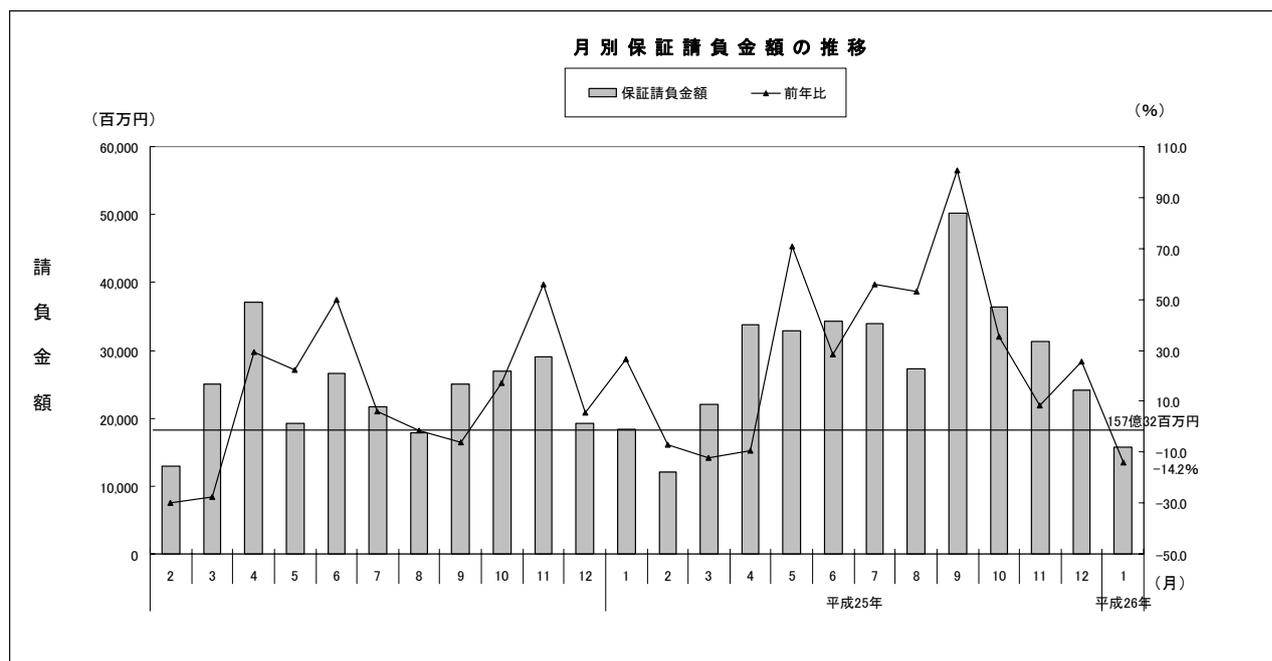
地域別(金額ベース)では、西播磨(前年同月比174.9%)、但馬(同47.3%)、東播磨(同32.6%)、淡路(同30.5%)、北播磨(同28.1%)が増加となり、阪神北(同▲82.1%)、丹波(同▲56.5%)、中播磨(同▲52.9%)、神戸市(同▲33.9%)、阪神南(同▲30.1%)で減少となった。

### 1月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、( )内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	18( 5.9)	2,028( ▲31.7)	八鹿日高道路青山川橋上下部工事
独立行政法人等	6(▲53.8)	1,446( ▲39.9)	平成25年度磁気カード方式料金収受機器更新工事
兵庫県	107(▲18.9)	4,850( 0.8)	道路総合改第4063-0-002号(主)香住村岡線(仮称)新大乘寺橋(仮称)新大乘寺橋上部工工事
神戸市	47( 17.5)	1,727( ▲18.4)	
神戸市を除く市町	147( 2.1)	3,518( ▲31.0)	佐企工第9号佐用町庁舎増築等工事
その他の団体	26( 44.4)	2,161( 131.8)	尼崎市東部浄化センター建設工事その2 西宮市甲子園浜浄化センター建設工事その2 5遠阪(本)第1号道路維持修繕工事(遠阪トンネル天井板撤去・覆工補修工事)
合計	351( ▲3.6)	15,732( ▲14.2)	

資料：西日本建設業保証(株)



## 【貿 易】

平成 26 年 1 月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は 6,526 億円、前年同月比 10.7%の増加で、総額ベースで 11 か月連続して増額となった。輸出は、船舶などが減少したものの、建設用・鉱山用機械などが増加した。一方、輸入は、たばこなどが減少したものの、無機化合物などが増加した。

輸出は 3,543 億円(前年同月比 0.6%増)と 11 か月連続で増加した。

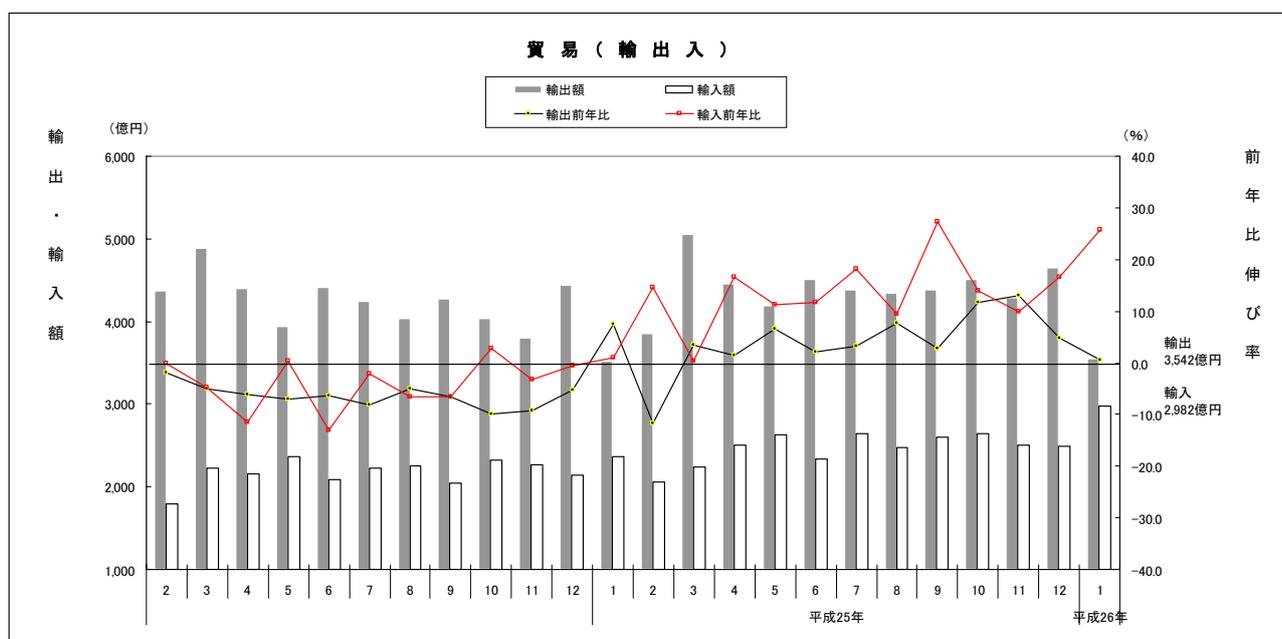
主要品目では、建設用・鉱山用機械(前年同月比 18.1%増、2 か月ぶりにプラス)、プラスチック(同 7.6%増、13 か月連続プラス)が増加し、原動機(前年同月比 4.8%減、2 か月連続マイナス)、織物用糸及び繊維製品(同 3.1%減、11 か月ぶりにマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比 23.3%増、19 か月連続プラス)、EU(同 14.4%増、8 か月連続プラス)が増加し、中国(同 11.0%減、7 か月ぶりにマイナス)、アジア(中国含む)(同 8.3%減、7 か月ぶりにマイナス)が減少した。

輸入は 2,983 億円(前年同月比 25.8%増)と 13 か月連続で増加した。

主要品目では、非鉄金属(前年同月比 29.6%増、5 か月連続プラス)、有機化合物(同 14.9%増、3 か月連続プラス)、衣類および同付属品(同 12.2%増、3 か月連続プラス)が増加し、たばこ(前年同月比 6.7%減、9 か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、中国(前年同月比 33.5%増、10 か月連続プラス)、アジア(中国含む)(同 31.1%増、10 か月連続プラス)、EU(同 25.6%増、14 か月連続プラス)、米国(同 24.7%増、10 か月連続プラス)が増加した。



## 【物 価】『消費者物価』

1月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が100.2(平成22年=100)となり、前月比は0.6%下落、前年同月比は、1.5%上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は100.1となり、前月比は0.6%下落、前年同月比は1.4%上昇となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は98.9となり、前月比は0.8%下落、前年同月比は0.6%上昇となった。

前月からの動きを見ると、理美容用品などの値上がりにより「諸雑費」が0.4%上昇した。

しかしながら、衣料などの値下がりにより「被服及び履物」が8.2%、教養娯楽サービスなどの値下がりにより「教養娯楽」が1.3%、交通などの値下がりにより「交通・通信」が0.3%、ガス代などの値下がりにより「光熱・水道」が0.3%、家庭用耐久財などの値下がりにより「家具・家事用品」が0.6%、保健医療用品・器具の値下がりにより「保健医療」が0.1%、それぞれ下落した結果、総合指数では0.6%の下落となった。

### 1月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	100.2	99.2	101.3	114.4	95.8	95.0	96.9	100.1	101.0	93.7	106.5	100.1	98.9
前月比	-0.6	0.0	0.0	-0.3	-0.6	-8.2	-0.1	-0.3	0.0	-1.3	0.4	-0.6	-0.8
前年同月比	1.5	1.7	-0.6	8.5	-1.0	-0.7	-0.1	1.6	0.8	1.7	4.1	1.4	0.6

(注)平成22年=100

資料：兵庫県統計課

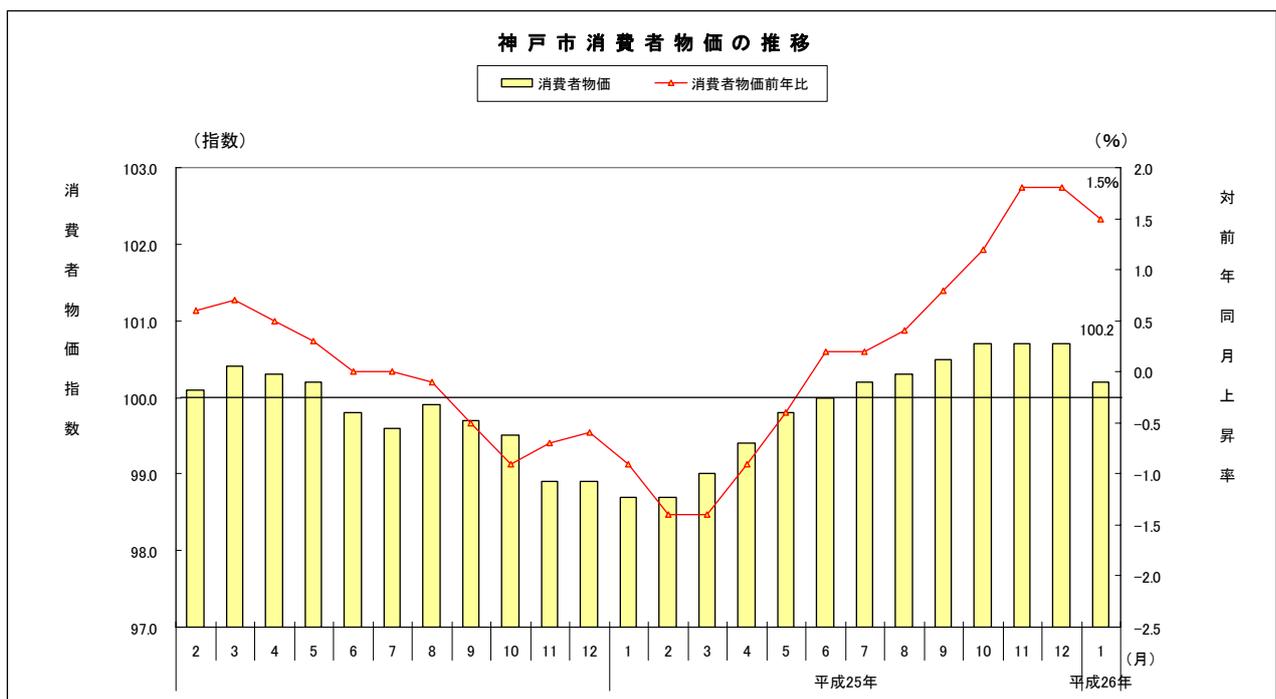
#### ○対前月比値上がりした主な品目

理美容用品 (+ 1.4%)・・・ヘアカラー、シャンプー、歯磨き

#### ○対前月比値下がりした主な品目

衣料 (▲ 13.1%)・・・男子コート、婦人コート、婦人上着

教養娯楽サービス (▲ 1.8%)・・・外国パック旅行、宿泊料、ゴルフプレー料金



## 【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が2月13日に発表した、企業物価指数(速報)による2014年1月の企業物価指数は次のとおり。

### 1月の企業物価指数

(速報、2010年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	102.9	0.1	2.4
輸 出 物 価	110.5	0.2	7.9
輸 入 物 価	130.0	0.9	12.7

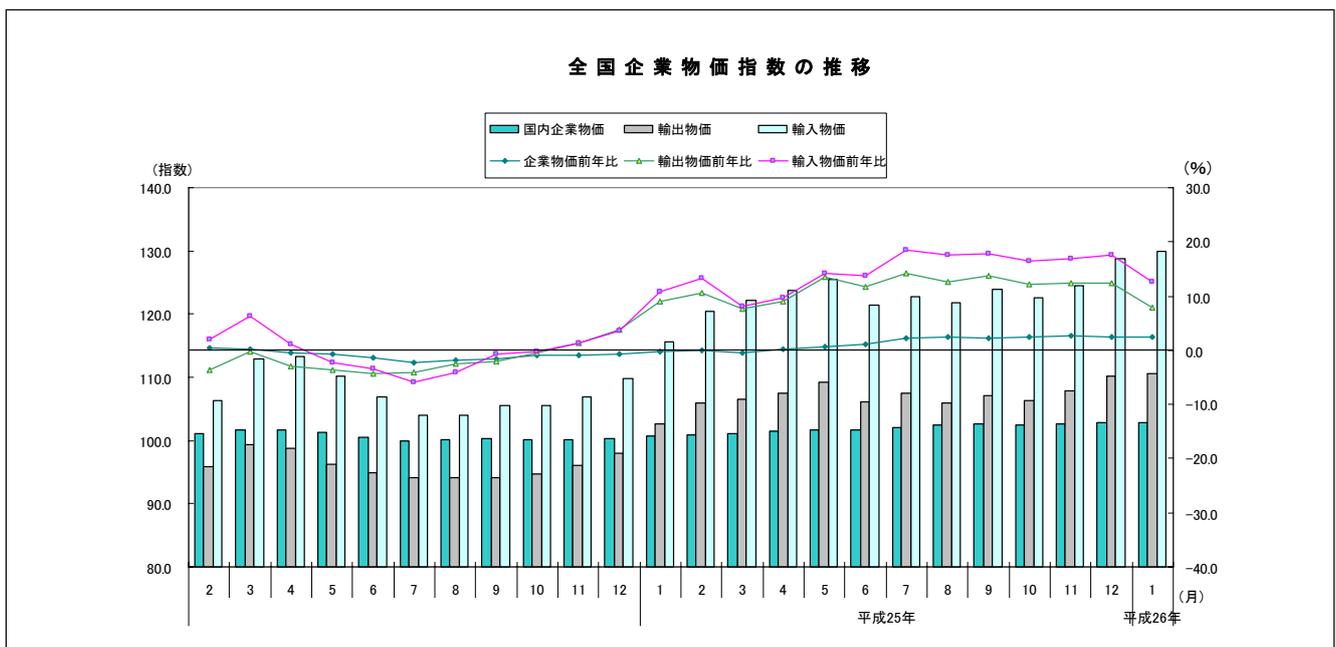
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、農林水産物（前月比-3.7%＜鶏卵など＞）、スクラップ類（同-2.9%＜鉄くず＞）、電力・都市ガス・水道（同-0.3%＜産業用特別高圧電力など＞）が下落したが、石油・石炭製品（同+2.6%＜液化石油ガスなど＞）、非鉄金属（同+1.6%＜銅地金など＞）等が上昇し、全体では前月比0.1%の増加となった。

1月は前年同月比2.4%増の102.9で、2008年12月以来5年1ヶ月ぶりの高い水準となった。前年を上回るのは10ヶ月連続。円安の影響で石油製品や電気料金などが上昇し、好調な住宅需要を背景に木材などにも値上がりが見られた。

輸出物価は、化学製品（前月比+0.6%＜スチレンモノマーなど＞）、はん用・生産用・業務用機器（同+0.5%＜カメラ用レンズ・交換レンズなど＞）、輸送用機器（同+0.2%＜普通乗用車など＞）、金属・同製品（同+0.2%＜金地金など＞）等が上昇し、円ベースでは前月比0.2%の増加（前年同月比+7.9%）となった。

輸入物価は、金属・同製品（前月比+2.2%＜鉄鉱石など＞）、石油・石炭・天然ガス（同+1.6%＜液化石油ガスなど＞）等が上昇し、円ベースでは前月比0.9%の上昇（前年同月比+12.7%）となった。



## 【雇 用】

### (1) 求人状況

県内12月の新規求人数(全数)は、23,836人(前年同月比11.4%増)で、6か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は72,492人(同10.2%増)で44か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比14.4%増で6か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同7.2%増で2か月ぶりに前年を上回った。また臨時・季節では同15.3%増で2か月連続して前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、製造業(前年同月比34.8%増)、運輸業、郵便業(同1.9%増)、卸売業、小売業(同10.4%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同11.9%増)、宿泊業、飲食サービス業(同8.0%増)、医療、福祉(同9.6%増)、サービス業(同9.5%増)は前年を上回り、建設業(同1.0%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同1.5%減)は前年を下回った。

### (2) 求職状況

12月の新規求職申込件数(全数)は14,310件(前年同月比4.7%減)で5か月連続して前年を下回った。

また、月間有効求職者数(全数)は81,824人(同7.2%減)で43か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比4.6%減で5か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同1.8%減で3か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比62.4%減で4か月連続して前年を下回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比7.7%増で4ヶ月連続して増加した。事業主都合離職者は同20.5%減で11か月連続、自己都合離職者は同1.0%減で3か月連続、自営・他は同26.5%減で31か月連続、無業者は同4.8%減で24か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、22,382人(前年同月比9.5%減)で、11か月連続して前年を下回った。

### (3) 求人倍率状況

12月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.34倍(前月比0.09ポイント増)で前月を上回り、有効求人倍率については0.81倍(前月比0.03ポイント増)で前月を上回った。

### (4) 失業者の状況

11月の全国の完全失業率(季節調整値)は3.7%、完全失業者数(原数値)は225万人(前年同月比34万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は3.6%(前年同月比0.9ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は38万人(前年同月比9万人減)となった。

## 産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
25年12月	23,836	1,809	2,470	224	1,243	3,916	202	444	593	1,763	790	6,570	2,742
前年同月比	11.4	▲1.0	34.8	▲21.7	1.9	10.4	46.4	41.4	11.9	8.0	▲1.5	9.6	9.5

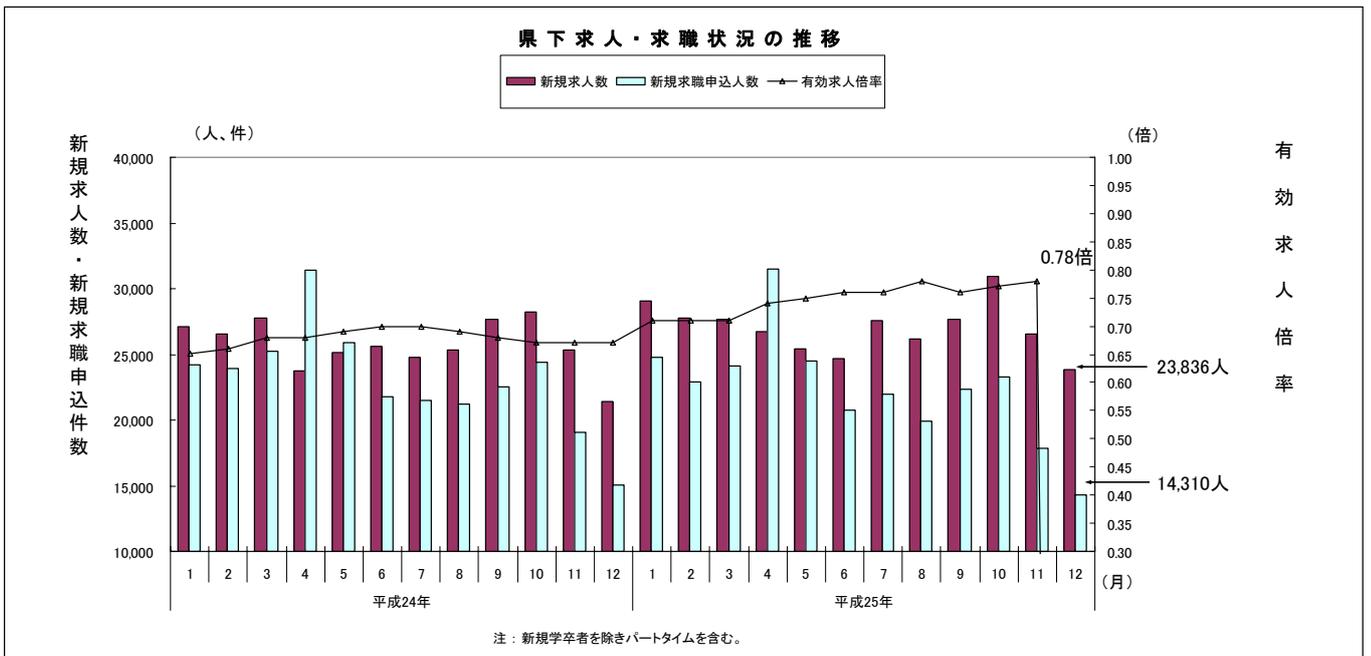
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

## 雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	12/10-12	13/1-3	13/4-6	13/7-9	13/10	13/11	13/11
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	0.68	0.71	0.75	0.77	0.77	0.78	0.81
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	5.9	3.8	3.3	4.8	9.4	4.5	11.4
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	▲6.0	▲4.0	▲2.8	1.8	6.1	4.9	6.6
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	▲0.6	▲1.1	▲0.2	▲0.4	0.0	0.2	0.3
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	0.0	0.1	0.9	▲1.6	0.0	2.6	▲2.9

資料：兵庫労働局、兵庫県企画県民部



## 【信用保証】

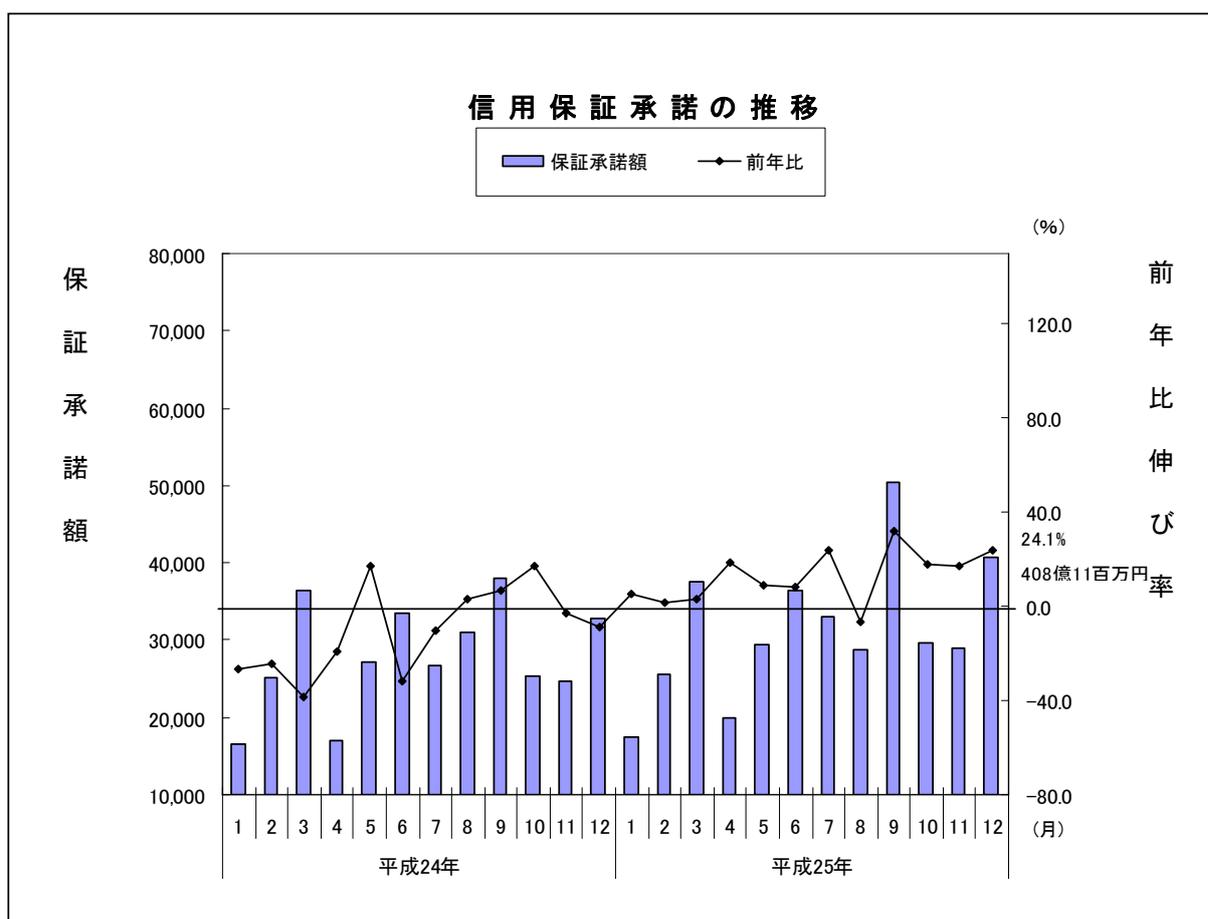
兵庫県信用保証協会による12月の保証承諾実績は、件数で2,422件(前年同月比23.6%増)、金額は408億11百万円(同24.1%増)となり、件数、金額ともに前年実績を上回った。

資金使途別では、運転資金37,829百万円(前年同月比23.2%増)、設備資金1,028百万円(86.5%増)となり、運転資金、設備資金ともに前年同月を上回った。

業種別(金額ベース)では、「運送・倉庫業」2,333百万円(前年同月比72.7%増)、「不動産業」1,425百万円(同57.4%増)、「小売業」5,354百万円(同48.8%増)、「サービス業」5,170百万円(同38.1%増)、「卸売業」7,751百万円(同29.5%増)、「飲食店」840百万円(同28.4%増)、「建設業」9,528百万円(同8.1%増)、「製造業」8,031百万円(同6.6%増)で前年同月を上回った。

一方、同月の代位弁済は、93件(前年同月比54.6%減)、10億円(同64.5%減)となった。

12月末の保証債務残高は、102,478件(前年同月比6.2%減)、1兆1,860億27百万円(同6.4%減)となった。



## 【金 融】

12月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都 市 銀 行 等	148,352	2.7	55,044	▲ 0.8
地 方 銀 行	25,455	4.5	21,954	5.6
第 二 地 方 銀 行	32,980	3.0	20,960	5.3
信 用 金 庫	81,175	1.8	38,137	0.8
そ の 他	17,779	1.7	17,536	0.9
計	305,741	2.5	153,631	1.5

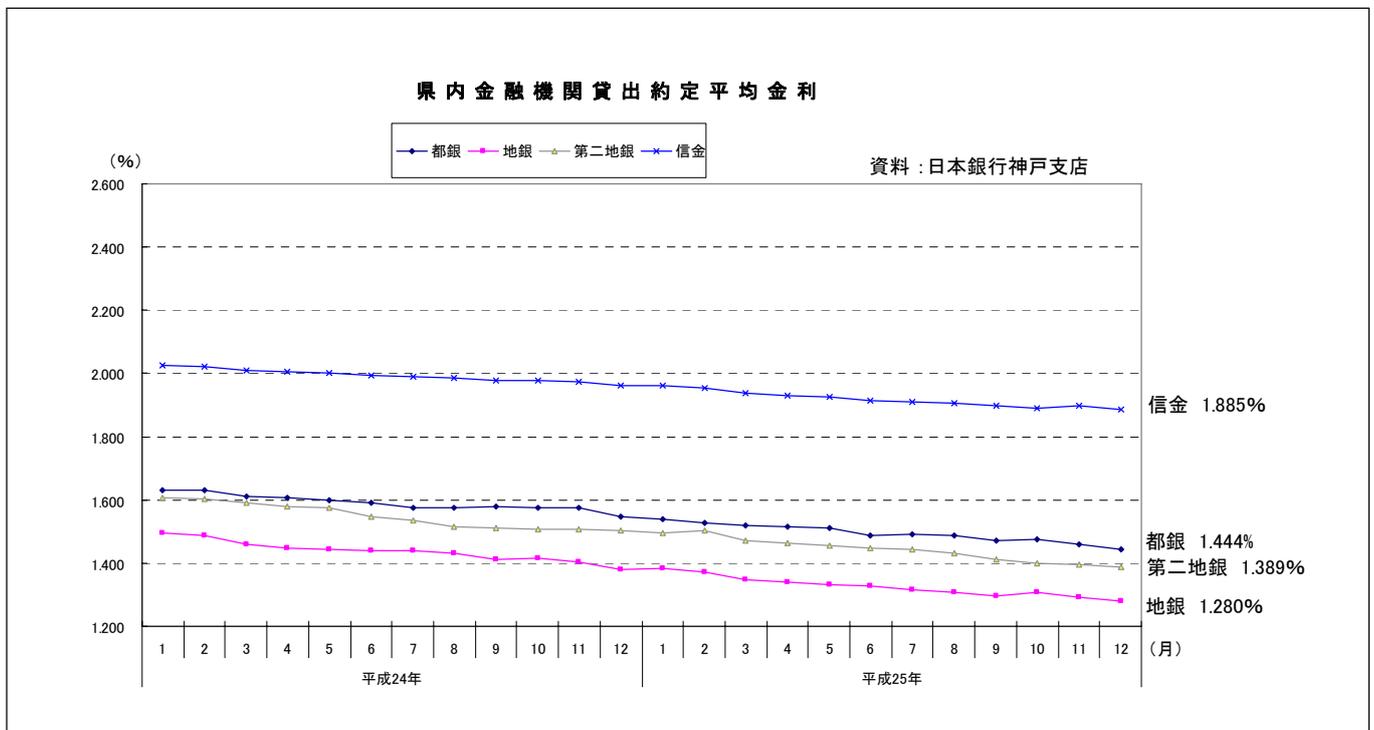
・都銀等＝都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他＝信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

12月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比+2.5%)

11月の貸出は、前年を上回って推移している。(前年比+1.5%)

11月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(11月末水準 1.564%、前月比▲0.011%ポイント)。



## 【倒 産】

県内1月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は36件で前年同月比29.41%の減少、負債総額は38億92百万円で同40.17%の減少となった。

倒産件数は、前月比3件(9.0%)の増加。前年同月比では15件(29.4%)の減少となった。また、1月単月では過去10年間(平成17年以降)で最も少ない件数となった(最多は平成22年の73件)。

負債総額は10億円以上の大型倒産がなく、件数の減少とで、1月単月では過去10年間で最も少ない金額となった。

原因別(件数)では、「販売不振」を中心とする「不況型倒産」が30件(全体の83.3%)を占めた。

業種別(件数)では、「建設業」が9件(前年前月比1件増加)でトップであった。

「資本金別」では、「個人企業他」の件数が14件で、当月も小規模事業者の倒産が特徴的であった。

「産業別」では、「建設業」が9件でトップとなった。

県下の企業倒産は、1月単月では件数、負債総額ともに過去10年間においては最少となり、引き続き小康状態が続いている。中小・零細企業などの倒産抑制に大きな効果を発揮した「中小企業金融円滑化法」は、昨年の3月をもって終了したが、同法終了後も金融機関の貸し出し姿勢に大きな変化はなく、加えて矢継ぎ早に出される多様な事業再生支援が、倒産抑制に大きく寄与していると思われる。従って、4月の消費税率引上げの影響は新たな懸念材料だが、今しばらくは鎮静化の流れに大きな変動はないものと考えられる。

1月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	3	7	-4	4	-1	建設業	9	6	3	8	1
過小資本	1	2	-1	2	-1	製造業	6	5	1	9	-3
連鎖倒産	1	1	0	1	0	卸売業	6	6	0	5	1
赤字累積	4	2	2	6	-2	小売業	5	6	-1	12	-7
販売不振	26	21	5	34	-8	情報通信業	0	0	0	1	-1
売掛金回収難	0	0	0	0	0	サービス業	7	8	-1	12	-5
その他	1	0	1	4	-3	不動産・運輸業他	3	2	1	4	-1
合計	36	33	3	51	-15	合計	36	33	3	51	-15

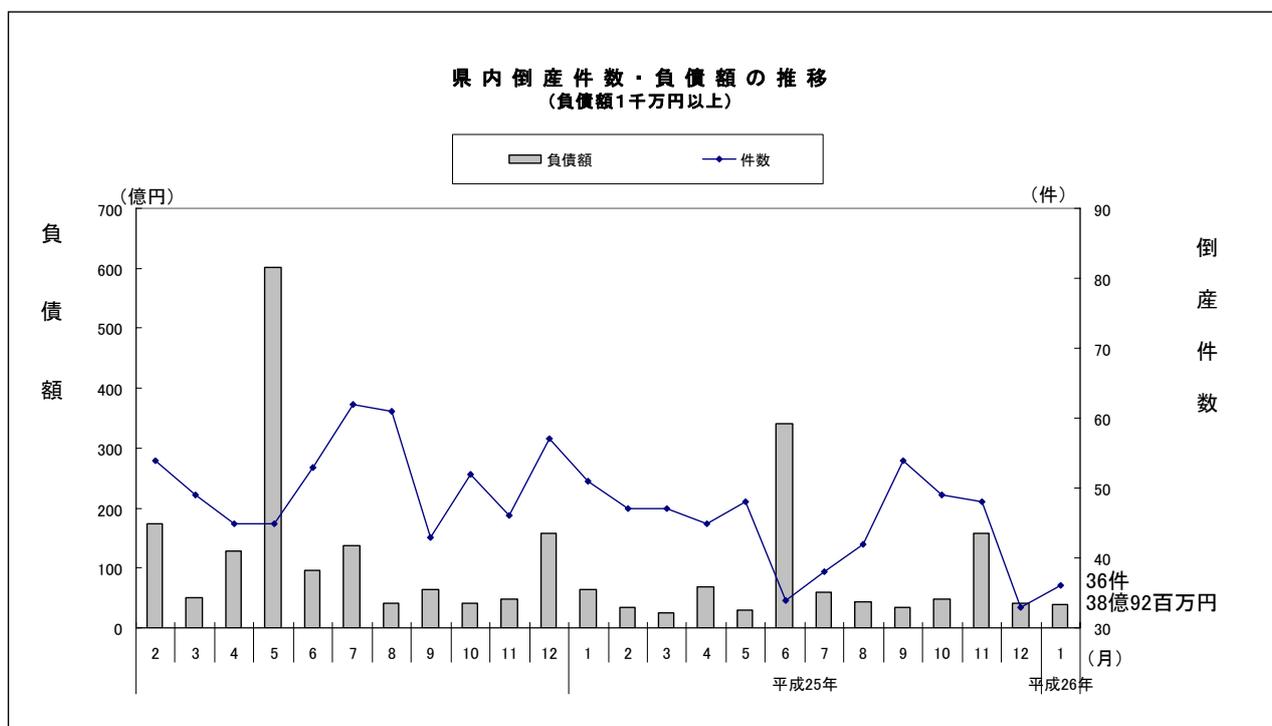
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位：件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1.0	0.9
24年 平均	51.9	16.0	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25年 1月	51	13	19	8	3	5	2	1
25年 2月	47	9	21	10	6	0	1	0
25年 3月	47	16	15	5	8	0	0	3
25年 4月	45	13	18	5	7	0	0	2
25年 5月	48	19	20	2	3	2	1	1
25年 6月	34	9	9	6	9	1	0	0
25年 7月	38	17	7	7	4	2	0	1
25年 8月	42	14	14	7	6	1	0	0
25年 9月	54	19	10	11	9	3	1	1
25年 10月	49	17	11	11	4	3	2	1
25年 11月	48	20	15	3	8	0	0	2
25年 12月	33	14	6	5	7	1	0	0
26年 1月	36	11	6	10	6	2	1	0

資料：東京商工リサーチ神戸支店



# 県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額	前年比	前年比	戸数	前年比	前年比
		%	%		(億円)	%	%	(戸)	%	%
24年 1月	102.9	3.0	95.2	1.9	145	-12.9	8.5	2,823	26.5	-1.1
2月	99.0	-1.2	94.4	-1.6	130	-29.9	16.8	2,314	-11.5	7.5
3月	97.9	-2.9	95.3	1.0	251	-27.6	8.0	2,923	8.9	5.0
4月	96.3	1.5	95.4	-0.2	372	29.5	5.4	2,579	-1.1	10.3
5月	95.0	-0.2	92.2	-3.4	193	22.3	36.7	2,581	23.3	9.3
6月	94.0	-1.3	92.6	0.4	266	49.6	14.1	3,066	8.8	-0.2
7月	95.7	1.5	91.7	-1.0	217	6.0	26.6	3,152	3.5	-9.6
8月	91.6	-4.4	90.2	-1.6	178	-1.6	19.2	2,699	-19.0	-5.5
9月	93.6	1.6	86.5	-4.1	251	-6.0	-1.9	2,534	2.4	15.5
10月	86.7	-7.5	87.9	1.6	269	17.4	28.2	3,051	23.0	25.2
11月	84.5	-2.4	86.4	-1.7	290	55.7	6.2	2,780	2.8	10.3
12月	88.3	4.4	88.8	2.4	192	5.6	15.6	3,193	-6.0	10.0
25年 1月	86.2	0.3	89.1	0.3	183	26.5	6.7	2,155	-23.7	5.0
2月	86.9	-1.3	89.6	0.6	120	-7.3	-4.8	2,607	12.7	3.0
3月	90.3	3.2	90.4	0.9	219	-12.4	-11.7	2,732	-6.5	7.3
4月	89.2	-0.8	91.9	1.7	336	-9.4	128.6	2,443	-5.3	5.8
5月	88.2	-0.9	97.7	1.9	329	70.8	24.8	2,632	2.0	14.5
6月	89.8	1.1	94.7	-3.1	342	28.6	21.7	2,939	11.7	15.3
7月	93.1	3.3	97.9	3.4	339	56.1	29.4	3,100	5.5	12.0
8月	88.2	-5.5	97.0	-0.9	272	52.9	7.9	2,735	-11.8	8.8
9月	91.3	3.5	98.3	1.3	502	100.6	29.4	2,759	8.9	19.4
10月	93.5	2.0	99.3	1.0	364	35.3	3.5	3,719	34.8	7.1
11月	94.5	0.0	99.4	0.1	313	8.1	4.9	4,017	44.5	14.1
12月	95.7	1.3	100.1	0.9	241	25.6	7.5	4,238	32.7	18.0
26年 1月					157	-14.2	28.8			
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

\* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比
	(台)	%	%	(億円)	%	%	(億円)	%	(億円)	%
24年 1月	14,266	40.4	38.4	196	-1.7	-1.2	3,277	-10.3	2,319	5.9
2月	18,388	31.4	31.7	156	2.3	-0.5	4,375	-1.9	1,796	-0.2
3月	24,941	68.1	76.3	179	2.3	14.2	4,879	-5.1	2,225	-4.9
4月	11,728	103.0	99.5	165	-1.7	1.6	4,398	-6.1	2,151	-11.4
5月	12,881	68.6	68.6	165	2.7	-0.9	3,935	-7.1	2,359	0.4
6月	16,893	47.4	46.8	164	-0.2	-1.2	4,418	-6.3	2,088	-13.1
7月	16,384	43.0	42.3	203	-1.4	-3.3	4,239	-8.1	2,227	-2.1
8月	11,762	14.6	15.6	151	0.6	-0.8	4,032	-5.0	2,256	-6.6
9月	15,226	-4.2	-3.7	147	2.1	-0.0	4,271	-6.6	2,041	-6.5
10月	11,441	-6.3	-6.7	169	0.2	-2.2	4,032	-9.9	2,318	2.8
11月	12,576	-3.9	0.2	185	4.2	2.5	3,800	-9.2	2,271	-3.2
12月	11,342	-2.3	-2.0	258	0.3	-1.0	4,444	-5.2	2,137	-0.6
25年 1月	13,378	-6.2	-7.4	192	4.6	0.3	3,522	7.4	2,372	0.9
2月	16,941	-7.9	-8.1	143	-0.9	0.7	3,861	-11.7	2,058	14.6
3月	21,468	-13.9	-11.0	176	3.5	4.0	5,051	3.5	2,235	0.3
4月	11,979	2.1	0.7	160	-2.9	-0.4	4,459	1.4	2,509	16.6
5月	12,231	-5.0	-8.7	157	-4.5	2.8	4,194	6.6	2,627	11.3
6月	15,343	-9.2	-12.5	165	1.1	7.5	4,515	2.2	2,331	11.7
7月	15,195	-7.3	-9.7	155	-7.8	-2.2	4,379	3.3	2,638	18.2
8月	11,926	1.4	-1.6	145	-3.6	3.0	4,341	7.7	2,473	9.5
9月	17,366	14.1	18.1	144	-1.4	3.0	4,382	2.6	2,600	27.3
10月	13,869	21.2	18.4	158	-5.8	-0.4	4,507	111.8	2,643	14.0
11月	14,661	22.0	16.7	183	-0.9	2.7	4,293	13.0	2,499	10.0
12月	13,905	22.6	26.5	251	-2.7	1.7	p 4,653	4.7	p 2,494	16.7
26年 1月	17,055	27.5	30.6	187	-2.7	2.9	p 3,542	0.6	p 2,982	25.8
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

\* p は速報値 r は確報値

\* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (22年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
24年 1月	0.65	0.73	1,053	5.2	98.7	-0.2	99.7	0.2	99.6	0.1
2月	0.66	0.75	1,049	5.1	98.9	-0.3	100.1	0.6	99.8	0.3
3月	0.68	0.76	1,043	4.7	100.1	-1.0	100.4	0.7	100.3	0.5
4月	0.68	0.79	1,053	4.4	100.5	-0.3	100.3	0.5	100.4	0.4
5月	0.69	0.81	1,052	4.0	98.8	-0.9	100.2	0.3	100.1	0.2
6月	0.70	0.82	1,051	3.8	100.2	0.1	99.8	0.0	99.6	-0.2
7月	0.70	0.83	1,054	3.8	100.0	-0.1	99.6	0.0	99.3	-0.4
8月	0.69	0.83	1,051	3.9	99.6	0.1	99.9	-0.1	99.4	-0.4
9月	0.68	0.81	1,052	4.4	99.3	-0.5	99.7	-0.5	99.6	-0.3
10月	0.67	0.80	1,047	4.2	99.3	-0.6	99.5	-0.9	99.6	-0.4
11月	0.67	0.80	1,048	4.0	99.8	-1.6	98.9	-0.7	99.2	-0.2
12月	0.67	0.82	1,048	4.0	100.4	0.5	98.9	-0.6	99.3	-0.1
25年 1月	0.71	0.85	1,040	-1.2	99.4	0.7	98.7	-0.9	99.3	-0.3
2月	0.71	0.85	1,035	-0.4	99.8	0.9	98.7	-1.4	99.2	-0.7
3月	0.71	0.86	1,032	-0.2	100.5	0.4	99.1	-1.3	99.4	-0.9
4月	0.74	0.89	1,043	-0.9	101.6	1.1	99.3	-1.0	99.7	-0.7
5月	0.76	0.92	1,047	-0.3	100.7	1.9	99.9	-0.3	99.8	-0.3
6月	0.76	0.92	1,051	0.0	101.1	0.9	100.0	0.2	99.8	0.2
7月	0.76	0.94	1,053	0.0	100.4	0.4	100.1	0.5	100.0	0.7
8月	0.78	0.95	1,050	0.0	100.0	0.4	100.2	0.3	100.3	0.9
9月	0.76	0.95	1,046	-0.5	100.2	0.9	100.5	0.7	100.6	1.1
10月	0.77	0.98	1,048	0.1	100.8	1.5	100.7	1.2	100.7	1.1
11月	0.78	1.00	1,051	0.2	101.0	1.2	100.7	1.8	100.8	1.5
12月	0.81	1.03	1,050	0.3	101.7	1.3	100.8	1.9	100.9	1.6
26年 1月							100.2	1.5		
資料	兵庫県労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (H24.5より22年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国 指数	前年比 %	金額		全国銀行 (年%)	件数 (件)	金額 (億円)	地域別倒産件数		
			(各期末)	前年比 %				神戸 (件)	阪神 (件)	播磨他 (件)
24年 1月	100.9	0.3	150,149	-0.9	1.452	56	102	14	19	23
2月	101.1	0.4	149,482	-1.3	1.442	54	173	17	23	14
3月	101.6	0.3	152,152	-1.3	1.428	49	49	15	23	11
4月	101.4	-0.7	150,310	-0.6	1.424	45	128	14	14	17
5月	101.0	-0.9	150,352	-0.3	1.421	45	601	16	18	11
6月	100.4	-1.5	150,636	0.3	1.409	53	97	18	25	10
7月	99.9	-2.3	150,531	-0.1	1.403	62	138	16	28	18
8月	100.1	-2.0	150,189	0.3	1.401	61	41	22	22	17
9月	100.4	-1.5	151,823	0.8	1.385	43	63	15	14	14
10月	100.0	-1.1	149,833	0.1	1.383	52	41	22	11	19
11月	99.9	-1.1	150,053	0.0	1.378	46	48	12	17	17
12月	100.3	-0.7	151,415	-0.1	1.364	57	157	11	19	27
25年 1月	100.5	-0.4	150,340	0.1	1.358	51	65	13	19	19
2月	101.0	-0.1	150,096	0.4	1.346	47	34	9	21	17
3月	101.1	-0.5	152,787	0.4	1.325	47	25	16	15	16
4月	101.5	0.1	150,606	0.2	1.321	45	69	13	18	14
5月	101.6	0.6	150,286	0.0	1.319	48	29	19	20	9
6月	101.6	1.2	151,520	0.6	1.303	34	341	9	9	16
7月	102.2	2.2	150,656	0.1	1.296	38	58	17	7	14
8月	102.4	2.3	151,104	0.6	1.291	42	42	14	14	14
9月	102.6	2.2	152,378	0.4	1.291	54	34	19	10	35
10月	102.5	2.5	151,258	1.0	1.277	49	47	17	11	21
11月	102.6	2.7	152,669	1.7	1.271	48	157	20	15	13
12月	102.8	2.5	153,631	1.5	1.256	33	41	14	6	13
26年 1月	102.9	2.4				36	38	11	6	19
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

\* p は速報値 r は確報値